

中齋塾 東京フォーラム  
平成 26 年度 第 4 回講話

平成 26 年 4 月 12 日  
於 湯島聖堂

私、毎日手帳に日記を書いています。最近「有難う」という文字は、赤い字で書くようにしています。文字の後ろに、どなたから言われたのかが印象に残ったかを書くようにしています。鮮烈に印象に残っている場合は、さっと書けますが、書けない時は、どこの買い物で一番良い挨拶をしていただいたかなと思って書いています。昨日の日記を見たら、近くのスーパーとコーヒー屋さんの有難うも良いなとありました。

有難うと言いたくなるようなお店と、お金を返せと言いたくなるようなお店が、最近は明確に分かれてきているなと感じます。

考えてみると、イトーヨーカドーとイオンの利益が少なくなってきました。それをカバーするのがイトーヨーカドーはセブンイレブンであり、イオンはイオンモールです。イオンモールは土地を買ったり借りたりしてテナントをたくさん入れ、大家さんとしての不動産収入をはかる。それがイオン本体の収益を好転させて下支えをしている。

セブンイレブンはトップが凄いなと思いますが、子会社が親会社を凌ぐという現象が出てくるのですね。

そこら辺と先程の店員さんの頭の下げ方とは、何か非常に密着をしている感じがします。例えば、セブンイレブンとイトーヨーカドーで「有難う」という科白を店員さんで比べてみると良いです。それからイオンも同じくです。

イオンの株主総会に行かなくなって 3 年ぐらい経ちます。行かなくなった理由は、お客様をお客様と思わない、株主を株主と思わないような発言態度に変わったときから、株主総会に行くことを止めました。

「有難う」という部分から、ちょっと逸れましたが、なるべく今年はこのレジメに従って話をしようと思っています。

基本哲学—知足—

「足るを知る」に関して、昨年特に今年に入ってから申し上げているのは、深いなと思うのと同時に重い言葉だという感じがします。

「足るを知る」は、現在あるがままのことを感謝しましょう・満足しましょうとお話をしていました。今もそう思っていますが内容によっては、なかなか満足し感謝することが出来なくなりました。日々のことに良かったといえるかという、そういう心境にはならない。ただそのように努力をしようという気になっています。

人の心の中は、辛いこと悲しいこと切ないこと、そういったものを全部踏まえた上で日々感謝をするような心持になれると良いと感じます。そういうことを考えさせてもらうのに「足るを知る」という言葉は良いですね。今は、一生懸命その「足るを知る」を深く掘り下げている最中です。相当ダメージを受けた時は、精神的な心の拠りどころになるものを何か1つお持ちになると良いです。

私は持ちました。精神的な拠りどころについては知足がある。それからスケジュールを淡々と埋めるような物理的な用事、肉体的な仕事というのかな、肉体的なものをつかう。そういう意味で拠りどころを持つと良いと感じました。

### **将（おく）らず迎えず応じて蔵せず**

将らず…過ぎ去ったことは、くよくよ考えない、悔いない。

迎えず…これから起きることについて、いちいち取り越し苦労をしない。

応じて蔵せず…目の前にあること一生懸命やっつけばよいでしょう。起きることを淡々とこなしていく、処理をしていく。そして腹に一物も残さず満足して夜眠れると良いという言葉です。

これは論語でいくと「七十にして心の欲する所に従って矩（のり）を踰えず」七十代の心構えということです。

「八十代、九十代の心構えは？」と、昔から論語の先生方はいろいろ聞かれますが答えはありません。それで宇野哲人先生が荘子の中に「将らず迎えず応じて蔵せず」が、論語の「八十代、九十代の心構えである」と御紹介していました。私はそれを良いなと思い戴きました。どうしても、自分自身やりきれなくなった時には「将らず迎えず応じて蔵せず」という呪文を唱えています。

知足から基本的な哲学を深く掘り下げていくと、自分なりの言葉がカチッとどこかでぶつかると思います。それを大事にされると良いと考えています。

私は精神的なものの支えになったのは何か、やっぱり論語です。論語が精神的な支えになりました。色々なその時の状況によって言葉が浮かんできますので、これは非常に役に立つ。特に現代に置きかえて論語を解釈するということが、自分に与えられた論語の説明に関しての使命であるという風に考えています。

ちなみに6月15日大阪で第二回論語寺屋サミットが行われます。論語普及会の伊與田学監は、現在の論語に関して最高権威のお一人だと思います。伊與田先生が講演をされた後に、私に講演して欲しいとお話がありましたので、出掛ける予定です。

知足を掘り下げていく中で生まれてきたものの 1 つの動きだなということで御紹介いたしました。

## 紹介書籍

『心に成功の炎を』中村天風述 日本経営合理化協会出版局

剣道をしておられる方いますか？

「近ごろ求めた新身の一刀、切れ味が試したい。さっきからここで人通りを待っていた。なおれ。たたき切ってしまう」という話が、この本の中にあります。

これは天風先生のお話の中ですが、千葉周作が、さあそろそろ寝ようかなと思ったら茶道の宗匠が「是非お会いしたい」ということで来て、千葉周作が「寝巻きの姿で悪いけれども何の御用だい」と聞きました。そしたら茶道の宗匠が、茶器を本郷の前田様の所へ届けに上がる途中、若者が立っていて「近ごろ求めた新身の一刀。ちょうどいいのが来たからお前を使って試し切りをしたい」と、茶道の宗匠は「今、お届け物中なのでお届けをした後に、また帰って来るから取りあえず切れ味を試すのは待ってくれませんか」と言って別れました。約束だから行かなければならないが、でもむざむざ切られたくない。そこで千葉周作に何とか生き延びる方法をお聞きしたいということです。

「剣道の心得がないけれども助かる方法は何かありませんか」と聞いたら、「じゃあ死ぬ覚悟はおありかな」と聞く。「覚悟はあります」というので、「じゃあ刀を持って大上段に振りかぶって目をつぶりなさい。目をつぶってじっと振り下ろす稽古だけをしなさい」と言う。「振り下ろす時に目をつぶると相手が見えませんが」「当然。見たら貴方逃げ出すだろうから、振りかぶったままじっとして体中のどこかがチクッときた瞬間に真っ直ぐ下ろす。相手に剣道の心得があれば貴方は助かる。剣道の心得が無ければ死なないけれども怪我はするでしょう。相手がむちゃくちゃに振り回してくる奴だったら怪我をするかもしれないけれど死なない。生き延びる方法はこれだけ」ということが、中村天風先生の本の中に書いてありました。

この文章がいいなと思ったので御紹介いたしました。天風先生の本が良いなと思うのは、話を練って落語をやっているからです。学者は練らないという語弊がありますが、学者は学術用語を使って分からないように書くことが多いです。

この間、病院に行きましたらお医者さんが色々説明してくれましたが、チンプンカンプンで何を言っているのか 8 割がた分からず「すみませんが、その言葉の意味が分かりません」と言ったら、「すみません。素人の方に専門用語は分かりませんね。違う言い方をしましょう」と言って、また専門用語を使って説明していました。若いから仕方がないなと

思いますけれどね。どうぞ医療関係者の方は素人にも分かる言葉で説明して下さるよう伝えてください。それで予定した時間をかなりオーバーしてしまいました。少なくとも素人に分かるような言葉を使えば、30分喋るのが10分に短縮できると思いました。

天風先生は練りに練っていますから、言葉の中身をよく考えて一般大衆が聞いて分かる言葉に置きかえて話します。落語や講談だって分かるように分かるように置き換えているわけです。言葉を練りあげて、いろいろな違う言葉に変えるわけです。

天風先生は、学術用語や専門用語を使わない。話をしている自分の気持ちが楽しいと聞いている人も自然に入ってくる。結果として練りに練った文章になっていますから、天風先生の本が非常に良いものだと感じるわけでしょう。

### 恒例の質問

この会場、良いですね。声が直ぐ通るし、顔がよく見えるし、ここではちょっと下向いているとか、寝ている人とか直ぐ分かる。

・四月に入って比較的、嘘はつかなかった。リップサービスの嘘があっても良いですから、比較的今月は嘘はつかなかった、どうでしょう？

ーはい、有難うございます。

・ひとつも嘘はつかなかった人

ーあっ、すごい何人かおられる。

嘘をつかないでいると、やっぱり夜寝るとき爽やかですね。朝起きた時も良いですね。私も夕べ寝る時に、嘘はつかなかったかなと思うと、「大丈夫」という声がどこからか聞こえてきました。

・実に良い日だと思う日が、今月に入って一回でもあった方

ーはい有難うございます。

### 介護をしていることについて

介護の話もちよっとしますとね、私は今年に入ってから今日まで母親の病室に行って介護の真似事をしています。1月の頃は、スプーンでお粥を掬って口にもっていくとごくんと呑み込んでくれました。茶碗で三分の一くらいは食べてくれたかな。水も飲むしお茶も飲んでくれました。2月はちょっと減ってきて、3月では、もうまるっきり喉を通らなくなりました。今は水やお茶も駄目、それからお粥も駄目になりました。

会話をしますが、なかなか会話にならない。でも耳に近づけて話すと答えが返ってきます。一番はっきりした言葉は「痛い」という言葉です。

聞くと、頷いたり首を横に振ったりしますので、頭の方はしっかりしていると思います。

食欲はあるけれど喉を通らない。人間は喉が通らなくなると少しずつ衰えるのかなと感じます。できるだけ毎日介護をしています。昨年は一ヶ月のうち半分以上、三分の二ぐらいは外泊していましたが、今年に入ってから激減しました。連泊はしないようになりました。毎朝行きますから、朝行かれない時には、夜行きますから、毎日行きます。毎日行くと、どういう状況か見た瞬間、話しをちょっと聞くと分かります。

介護は肉体的、物理的に大変だということが分かります。友人と以前話したのですが、その友人には兄弟が七人いる。親の具合が悪くなったので看病をしないといけないのだが、兄さん姉さん上の兄弟は全然看病に行かない。末の自分だけが看病に行く「お前は暇だから行け」というが、私だって仕事がある。でも自分が一番下だから命令されてしょうがないので行くと、ぐずぐず文句を言っていたから、「親が亡くなる時に、看病できるのは幸せなことだよ。悔いを残す人というのは、自分の思い通りの看病が出来なかった。何であの時あれが出来なかったのだろう。何であれをしてやれなかったのだろうと、親が亡くなった後に悔いが残って自分を責める人は世の中には多い。だったら親御さんが亡くなる時に一年でも二年でも看病できるのは幸せだと思ってやるべきじゃないのか」と言ったら「そういう考え方があるのか」と言って、気持ちを入れ替えて看病したとのことでした。あとで、きちんと親の死に目にあうことができ、満足することができたと言っていました。

ただそれは一年二年なら良いのですが、何十年もやり続けるとこれは大変ですから、その時は何か違った方法を考えるべきだろうと思います。ただ悔いのない介護というのはやっぱりあると思います。私は悔いのない介護が出来ると良いなと思っています。

介護をしていて出掛けることがちょっと難しかったら、その中で何でも良いから自分で良かったなと思うものを見つけられると良いと思います。

今、親は何も言えなくなっていますし、食べられなくなっている。体調の悪い時はびくとも動かない。でも頷くことは出来るので「寒いかい」と言うと、うんと頷く。「肩に布団掛けようか」と言うと、うんと頷く。深く頷いたら本当に良かったと思いますので、何か1つ見つけられると良いと思います。

口が悪いのなんて聞き流せばいいんですよ。だいたい年とってくると口が悪くなることになっていますから。

認知症になると口が悪くなるし、周りの人を疑う。だから認知症はこういうものだと分かっていたら納得できます。どっちみち分かりきったパターンで出てくるから、これは病気の成せる業だと思えば、腹が立っても、やり過ごせます。何かどうぞお考え下さい。何か良いものを1つ見つければ良いでしょう。

良い日かどうかは、良い日じゃなかったなと天秤にかけてしまうと、悪いことばかりに頭を塞がれてしまいますから、何か良いことを1つ見つけて、それを拡大解釈していけば良いと考えています。

・ 今月有難うと言われることが多かった方どうでしょう。

ー はい、有難うございます。

首を傾げながら手を挙げましたが、有難うと言われることが多かったのでしょうか？

(会員) ー 有難うとすごく言ってくれる方がいるのですが、そんなに有難うと言われていいのかなと思ったので。

それは人によって解釈が違ふし、価値観が違います。

例えば、宝くじが当たった。それで皆にお裾分けをする。近くにホームレスが住んでいる。私、宝くじが当たったから十万円あげましようと言います、その価値観はどうでしょう。あなたが持っている十万円と貰う十万円の価値。仮に一万円だったらどうなのか。外国人のホームレスの人だったらどうなのか、同じ一万円でも価値観は変わりませんか。でするので、御自分の価値観で判断しないで、有難うと言ってくれた相手の価値観に置きかえて考えましよう。

・ 健康、今月は健康法をやり続けていると思っておられる方？

ー はい、有難うございます。猪瀬理事長が手を挙げるのが早かった。ちなみにどんな健康法でしょうか。その内、紹介していただくと良いですね。一度見てみたいと思う方はどのくらいいますか。

ー 皆さん手を挙げられた。有難うございます。

・ 最後、明日を過去形でイメージして寝ましたか。今、手を挙げた方で説明していただける方はいますか？

(竹岡幹事) ー 私は、先生からその言葉を聞いて必ず 1 日の中に 1 つワクワクするような事柄、楽しくなるような事を意識的に入れるようにしました。仕事もそうだし仕事以外でも必ず 1 つ入れる。それが終わったことを想像するという風にする。だから 4 月に入って毎日 1 つずつそういう事が上手くいっていますので、大変感謝しています。

この話しは参考になりますし、役に立ちますね。やはり意識しないと駄目です。

では、論語の解説とあわせて時事評論でいきます。

## 論語の視点ー顔淵 12ー

【二一】樊遲 従いて舞雩の下に遊ぶ。曰く、敢えて徳を崇くし、慝を修め、惑を辨えんことを問うと。子曰く、善いかな問うこと。事を先にして得るを後にするは、徳を崇くするに非ずや。其の悪を攻めて、人の悪を攻むること無きは、慝を修むるに非ずや。一朝

の忿<sup>いかり</sup>に、其<sup>そ</sup>の身<sup>み</sup>を忘<sup>わす</sup>れて、以<sup>もつ</sup>て其<sup>そ</sup>の親<sup>しん</sup>に及<sup>およ</sup>ばずは、惑<sup>まどい</sup>に非<sup>あら</sup>ずやと。

孔子が 55 歳、樊遲が 19 歳。その時の問答であるとお考えください。

樊遲は青年というより、今の日本の感覚でいけば少年ですね。でもこの時代であれば立派な大人かな。

私は二十歳前後の頃、年配者は若い人間に物を教える義務がある。若い人間は、年配者に物を教わりに行く権利があるということを自分で勝手に考えまして、そういう理屈でいろんな先生方に質問をしたり出かけて行ったりしました。誰も断りませんでした。この理屈は良い理屈だなと思います。

その中で記憶に残っているのが、大きな会場でランチェスター理論を講じている先生に氣になったことを質問した時も、確かそんな類なことを私は言いましたが、誰も反論しないでちゃんと教えてくれました。

哲学を身体で体言しているような先生だと、非常に柔らかくて雰囲気かふわつとして、とっつきやすく感じるものですが、鎧をつけている八十代、九十代の方も結構いますから、鎧の方は自然と避けるようになりました。

「樊遲 従いて舞雩の下に遊ぶ。」遊ぶということは、一緒に出掛けたということですので、樊遲は孔子に従って舞雩（雨を祭るところ）へ出掛けました。その時に「徳を崇くし、慝を修め、惑を辨えんことを問うこと。」この諺の意味が分からないので、教えてくださいと聞きました。

どうすれば徳を磨き、自分の心の中の悪い心をどうすれば退治出来るでしょうか。自分の心の迷いをコントロールするには、どうすれば良いでしょうかという意味です。

樊遲は荒削りで思慮が足りないから、こういう子にはどう答えればいいかなと考えだっただと思います。孔子はお弟子さん達が自分に対して質問してこないからまず誉めた。誉めるとまた質問をしてくる。他のお弟子さん達に対しても質問をすることは良いことだと質問を奨励していく。それは良いかなと誉めたところです。

「事を先にして得るを後にするは、徳を崇くするに非ずや。」今の世の中これは非常に役に立ちます。

私の関係している会社が、この間入社式をやりました。社長が新卒の人達に「この中で自分の人生の夢を持っている人は手を挙げてください」と言ったら、三分の二ぐらい手が挙がったので、よく見たら幼い感じの頼りなさそうな若者達が並んでいました。この若者達によく聞かせたいところです。

孔子は、行動が先ということで、仕事を先にやりなさい。どこかに仕官してもお給料はいくらいくら欲しいと言わないで、後で内容がよければ必ず見合った報酬は入ってくるも

のだという風に考えなさい、そうじゃないのかねと答えました。

「其の悪を攻めて、人の悪を攻むること無きは、慝を修むるに非ずや。」自分の悪いところを攻めて他人の悪いところを攻めない。これが自分の徳を磨く方法で、悪い心をコントロールすることが出来ると思うと答えました。

「一朝の忿に、其の身を忘れて、以って其の親に及ぼすは、惑に非ずやと。」一時の怒りに我を忘れて行動に移してしまうと、その結果は親を巻き込んでいく。酷い場合には、その親族にも及んでしまう。それが惑いというものではないのかね、と言いました。

中国の場合であれば、出世する人が一人増えると、その家族は出世し親族も出世する。その人が清廉潔白であっても、その周り一族郎党は汚職の巣窟になる。

これで考えると北朝鮮は酷いです。この間、北朝鮮で処刑された人は、権力闘争に敗れた後で、他の人の利権を横取りしたことへの反発の氣配があります。それで下から突き上げられ新しくトップに立った人が了承をしたから、無残な惨たらしい殺されかたをした。それは一族郎党にまで及んでしまった。あのような政治体制はそこまでいく。日本の場合にはそこまでいかないと感じます。

論語から考えると、最近の御時世は、きな臭さを感じてしょうがないですね。

## 時事評論

私の頭の中を占めていることは、アメリカが弱くなった。アメリカの国力が落ちた。そうすると、どうなるのか。

木内信胤先生が昔「アメリカはこれから驚くほどの勢いで坂を転がり落ちる」とおっしゃった。今、完全に坂を転がり落ちています。坂を転がり落ちると、周りで取って代わろうと考え、自分の勢力を拡大したいと思う人達があります。ロシアは後ろに構えていて、あちこちで代理戦争をやっています。その代理戦争の中で、中国が他国にちょっかいを出してもアメリカは何もやらない。口先だけの国に変わったから、これはいけるかもしれない、よしこれは領土拡張のチャンスであるから、ウクライナに手を出して、自国の一部にしてしまえという動きをした。それに対して鼻葉をきかせているヨーロッパの人達は吠えた。吠えたけれども実行のあがる制裁はなく、逆手にとって我々がこんなことをやってもヨーロッパの人達は効果の上がるような制裁はしてこない。それにアメリカは及び腰で遠吠えをしているだけ、だったらこれはチャンスだということでウクライナを連邦制にするという動きを後ろから煽っている。

私の憶測で申し上げますと、どうもロシアと中国は緊密に連絡を取り合っていて、それで狼煙をあげる。こっちは違う狼煙をあげてみようという感じです。

日本にちょっかいを出すのは、沖縄に火をつけて沖縄独立戦争をさせる。日本に連邦制

を敷かせるのには、沖縄の独立運動をさせればよかろう。ではウクライナでまず実行しよう。ウクライナでやってみたらロシアの思うような方向に進んできた。ヨーロッパはエネルギーを抑えられているので遠吠えをするだけ、アメリカも自分の国がガタガタしていて、オバマさんはヨロヨロしているから制裁など加えられない。

ロシアがそこまでやったから、中国もいけるぞということで、中国は空の制圧、海の制圧をどんどん進めていくでしょう。

中国は周りの国に手を出す、それに対してアメリカが手を打てない。具体的な計画を立てている中で、偶発的な出来事から戦争が始まる。したがって日本が戦争に巻き込まれるであろうという感じがしています。安倍政権はそれに向かって対応できるように、ひたすら憲法の解釈、変更を進めています。

### 懇談会で…

この間、懇談会で三菱財閥がどうやって出来たかを話しました。日本で内戦が起きた時に物資を輸送する会社がありませんでした。あっても小さい会社でした。

物資を輸送する仕事を、三菱が意識的に受け、その仕事を増やすことによって、財閥の基礎を拵えていきました。もともとは龍馬が残したというか龍馬の遺産を引き継いだ。龍馬の残した遺産を受け継いで事業のスタートをきっていく。それで一気に伸びた。あなた方の関係している仕事も同じように伸びる可能性があると話しました。

聞いているのは若い人達ばかりでしたから、そういうものかなという感じでした。似たような事が色々あるから、よく新聞やテレビを見なさい、ネットを御覧なさいと言いました。でもそういう解説をしないと分からないようです。現象だけしか見てないからだと感じます。いろいろと起きている現象と現象を繋ぎ合わせるには、知識がいる・知恵がいると思います。

中斎塾フォーラムでは、この現象の根っこを調べる。そうしますと地下茎で繋がっている。その繋がっているところの根幹をよく見てください。

能力を磨けば自分の判断が人様に説明できるものになってしまう。それを磨くためには本質・大局・歴史という観点で御自分の判断力を磨いていければ良いと思います。

今、私が気にしているのはニーサ・小額投資非課税制度です。これは勉強するのに良いと思います。日本の国力をはかり経済をはかり、日本の国民がどういう方法で動いているのかを見るのにニーサという制度は面白いと感じます。

それから領土紛争。

中国とロシアと北朝鮮、韓国、アメリカ。特にアメリカの動き、これが気になってしょうがありません。各紙を見ますと、ウクライナの話がいくつも出ている。これは朝日新聞が、視点が違うだけで同じことをたくさん取り上げている。これはおかしいなと思いました。領土紛争がクローズアップされている。日本の立場で見たらどうなの

でしょうか。

最後に日本は原発問題、これまたネジ戻しましたよね。原発は元に戻した。それから、憲法の解釈です。言い方はちょっと極端ですけど、憲法の解釈の変更によって、戦争に参加できる戦闘行為が可能であるという方向に進んでいます。平和、戦争、平和、戦争と順番で繰り返しています。今は平和ですから次は戦争。これから数年でそういう動きが出てくるであろうと思っています。

どうぞ、こういうことが出てきたら要注意ですので、警鐘を鳴らしてください。

時間が参りましたので以上です。有難うございました。